

岐阜県 商店街だより



第375号 2015.11.20 11月号



発行元

岐阜県商店街振興組合連合会

岐阜市藪田南5-14-53

TEL058-277-1107

羽島

10/24(土)

仮装して街に熱いKISS なまずナイト

■主催：羽島市なまずまつり実行委員会 ■共催：羽島市・羽島市観光協会・羽島商工会議所
(一社)羽島青年会議所・NPO法人羽島の未来を築く会・美濃竹鼻中心市街地活性化委員会

羽島市恒例の秋の「なまずまつり」が、10月24日(土)～25日(日)に開催されました。今年が26回目で、新たな試みとして、「えーがや笑寿(WAJU)うなまずまつり2015」と銘打って、JR岐阜羽島駅前通りを歩行者天国にして、盛大に催されました。近畿大学発の「うなぎ味のなまず」が羽島で初披露され、蒲焼丼の試食販売もありました。

なまずまつりの一環として、竹鼻商店街では、24日の午後4時～9時まで、「なまずナイト」が開催されました。「なまずハロウィントリックオアトリート」「なまず太鼓パレード」「なまず行灯」「折り紙あかりアート」「お酒と音楽を楽しむイベント」等、この夜の竹鼻商店街は熱気に溢れていました。

「なまずハロウィントリックオアトリート」は、仮装をして、商店街のお店20店舗を回ってお菓子をもらうイベントでした。全てのお店のスタンプを集めるとガラガラ抽選ができます。スタンプラリーとトリックオア



▲仮装してお店でトリックオアトリート

トリートの組合せがとても好評でした。ただし、景品に合わせて用意されたスタンプラリー用紙に限りがあり、「来年はもっと早く来ようね。」と用紙を貰えなかった子供を宥めている親御さんの姿が見られたので、一工夫して欲しいところだと思いました。

「折り紙アート」では、なまずの折り紙が灯りアートになっていて、通りを優しく飾っていました。

「お酒と音楽を楽しむイ

ベント」では、▲なまずの折り紙のあかりアート千代菊前の黒田様広場で、ベリーダンスがありました。KISSトリビュートバンド「GOD OF THUNDER」のライブもありました。ロックバンドの「KISS」にそつ



▲KISSのトリビュートバンドの熱いライブ

くりの衣裳と顔の隈取に、ポカーンと口を開けているお客様がいました。演奏は本格的で、その迫力に観客は度肝を抜かれていました。ハロウィンの仮装が周りに溢れていたの、商店街に不思議にマッチングしていました。

秋の夜長、K I S S が羽島の銘酒「千代菊」

を連呼する雄叫びが、竹鼻商店街に響いていました。

【参考となるポイント】

- ハロウィンとイベントの融合
- スタンプラリーとトリックオアトリートの組合せ
- 景品は沢山用意したい

美濃

10/10(土)~
10/11(日)

あかりアートに包まれた 六斉市

■主催：美濃俵町商店街振興組合

美濃市のうだつの上がる町並みで、第22回美濃和紙あかりアート展が10月10日(土)~11日(日)に開催されました。この両日、俵町商店街では六斉市が開催されました。「楽市楽座 取り戻そう、豊かな記憶 懐かしい未来に向かって」を合言葉に、俵町の商店街の食品関連の店が市営駐車場に集まり、和菓子、揚げ物、餅等が並びました。アットホームなイベントとして、とても盛況でした。



▲六斉市の賑わい

美濃和紙あかりアート展は、味わいの深い感動的なイベントでした。番屋前のメインステージでの催しも、引き付けられるものばかりでした。

美濃市出身の横田良子さんのミニコンサートを聴きました。中島みゆきの「糸」、あかりアートのテーマソング「灯り」など、澄ん



▲美濃小学校の仁輪加クラブの子供達

だ声に心が洗われました。観客は耳をすまして聞き惚れていました。美濃小学校の仁輪加クラブの子供達による美濃仁輪加もありました。これがまた絶品で、一生懸命に演じる子供達の健気さと、漫才の落ちの面白さが相



▲幻想的なあかりアート展

まって、拍手喝采を受けていました。

あかりアートの幻想的な雰囲気には、ただただ息をのみました。このイベントは、他では決してない美濃市の財産の一つだと思いました。

さて、夕方になるにつれて、六斎市には、人出がどんどん増えてきました。肉の喜楽の「うだつコロッケ」が飛ぶように売れていました。御菓子所小川屋の「美濃の若鮎」の前もお客様が沢山いました。日比野理事長にお話を伺うと「年一回の商店街のイベントとして

自前の出店です。あかりアートと共に、年々盛り上がって来ました。」とのことでした。

規模は小さいものの、地元根付いたイベントとなっていました。あかりアート展に訪れた外の人も流れて来ているようで、相乗効果が確実に出ていたと感じました。

【参考となるポイント】

- 文化的財産を大事にする
- ビッグイベントとの連携
- 地元根付いた自前の出店

大垣

10/4(日)

城下町にゆるキャラもモンスターも集まった 元気ハツラツ市

■主催：大垣市商店街振興組合連合会

毎月第一日曜日に大垣市商店街でお馴染みの元気ハツラツ市が、10月4日(日)に開催されました。晴天に恵まれ、午前10時から午後3時まで、大垣駅前の商店街一帯は歩行者天国となり、4万人を超える人出で賑わいました。

メインステージの新大橋ステージでは、開会宣言に始まり、よさこいソーラン、キッズダンス、ベリーダンス等がありました。キッズダンスでは、ピンクの可愛いフリルのスカートと初々しい踊りに観客は微笑んでいました。かがやきステージでも、よさこい、ヒップホップダンス、アイドルパフォーマンス等がありました。地元バンドのはなちゃんのライブでは、ザードの名曲「負けないで」の元気な歌と演奏に、思わず手拍子が起きてい



▲はなちゃんのライブ

ました。

今回は、大垣城築城480年を記念して10月3日～4日に開催された「第3回全国城サミットin大垣」の関連イベントとして、「城下町観光交流物産展」と「お城ゆるキャラ大集合」も共催されました。「城下町観光交流物産展」では、小田原城、彦根城、越前大野城、丸岡城、長浜城、犬山城、弘前城、郡上八幡城、小山城、伊賀上野城、そして大垣城のブースにそれぞれの物産が並んでいました。彦根城は近江牛ステーキ串、弘前城はりんごスティック、郡上八幡城は醤油フランク、大垣城は煎茶ラスク等、ご当地の名物品の前に列が出来ていました。「お城ゆるキャラ大集合」では、彦根市のひこにゃん、長浜市の三成くん、弘前市のたか丸くん等が、そして大垣市からは、おがっきいとおあむちちゃんが参加しました。ゆるキャラ達は、新大橋ステージやかがやきステージで大集合して、愛嬌を振りまいていました。

トランポリントイプのアトラクション「ふわふわお城」の前には、登城を待つ子供達の長い列が出来ていました。3歳から9歳限定の1回200円で、先着200名にお菓子の



▲子供達に大人気のふわふわお城

プレゼントもありました。お城の中でピョンピョン飛び跳ねる子供たちの姿が見えました。

10月31日のハロウィンにあやかっただイベントもいろいろありました。ハロウィン仮装をして商店街を巡る「ハロウィン in 商店街」、会場内をさまようモンスターからス

ランプを集めて景品をゲットする「モンスター！逃走中」、コスプレするのもよし、撮るのもよしの「これば！ハロウィンコスプレ」等が開催されていました。あの手この手のイベントが満載で、あっという間に午後3時になっていました。

帰りに、「一店逸品マップ」を入手しました。30店舗のオリジナル商品やこだわりの商品を集めた商店街逸品マップです。元気ハツラツ市のパンフレットにも十数店舗の情報が載っていて、重複している部分とそうでない部分がありました。元気ハツラツ市と各店舗のタイアップの余地はまだまだあると感じました。

【参考となるポイント】

- イベントとイベントの融合
- ハロウィンとの連動
- イベントと個店の強力なタイアップ

柳ヶ瀬

10/17(土)

こどもたちが未来の街を作るんだ こどもはなうたアワード

■主催：トジコン！プロジェクト実行委員会

■後援：日本ユネスコ協会連盟・岐阜県教育委員会・岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

柳ヶ瀬商店街の高島屋前のわくわくステージで、10月17日(土)に「こどもはなうたアワード」の授賞式がありました。こどもはなうたアワードとは、10歳までの子供達のユニークな歌声を、スマホ等から応募するコンテストで、今年が第4回となります。「トジコン！プロジェクト実行委員会」とは、昭和技研株式会社内のおもいでやが作った実行委員会で、トジコンとは「思い出を閉じ込める」という意味です。司会は、柳ヶ瀬商店街のアイドル・ゆっこでした。

審査委員長は、「あいのてさん」の3人組で、かつてNHK教育テレビの「あいのて」にレギュラー出演していました。音が大好きな3人組で、音のためにはどこにでも現れます。



▲司会は柳ヶ瀬商店街のアイドル・ゆっこ

応募は250作品ほどあったとのことで、頭の中にひびくで賞、ぶっ飛び賞、味わい深いで賞等の後に、準グランプリ、グランプリの発表がありました。グランプリは、何と同じ男の子の3連覇で、名前を伏せた状態で選考した「あいのてさん」の3人もびっくりし

ていました。「柳ヶ瀬。柳ヶ瀬。柳ヶ瀬商店街。柳ヶ瀬に行きたいな。」と言うはなうたも飛び出しました。柳ヶ瀬商店街の林理事長がステージに呼ばれ、「大変すばらしいので感動しました。いつかゆっこちゃんに歌ってほしい。」とのコメントを述べていました。

こどもたちのはなうたに、耳を傾けているとほのぼのとし、懐かしくて暖かな気持ちになりました。授賞式の後、過去の作品を編曲した「はなうた合唱団」の合唱がありました。これが素晴らしく、今の子供達と昔の子供達の見事なコラボになっていました。

この日は第3土曜日で、柳ヶ瀬本通りでは定例の「やながせサンド」が開催されていました。丁度30回目を迎え、ご当地キャラの織田のぶニャが様も登場していました。また、ゆっこ、塚本明里、リッツによるハロウィンを巡るガールズトークに花が咲いていました。

柳ぶら楽市も開催されていました。常連の人たちが多いようで、産直の野菜等を手に、



▲共催されていた柳ぶら楽市

店の人と会話が弾んでいました。

この日、ミツバチ食堂でオムライスのランチを頂きました。野菜たっぷりのサラダ、玄米をブレンドしたご飯がとても美味しかったです。商店街で童心に帰ることができました。商店街の未来は子供達にかかっていることを実感しました。

【参考となるポイント】

- 子供が主役のイベント
- 共催のイベントとの調和
- 商店街で名物のランチ

大垣市商店街振興組合連合会

(株)全国商店街支援センター

トータルプラン作成支援事業

プランづくりコース

大垣市商店街振興組合連合会では、(株)全国商店街支援センターのトータルプラン作成支援事業を活用して、7月から9月まで3回に亘って「ビジョンづくり」行いました。引き続き、「プランづくり」を全4回行う予定で、その第1回目が10月20日に行われ、14名程の参加がありました。会場は郭町商店街にある「ちょいみせキッチン」、講師は(有)協働研究所の東朋治氏です。

今回は、第1回目として、原点に戻って、大垣商店街の現状分析を3段階で進めました。まず、【現在のイベント】を列記しました。次に、【過去に辞めたイベント】を振り返り、第3段階として、【これからやってみたいイベ



▲まず商店街の現在のイベントをすべて列記

メント】を考えました。

【現在のイベント】を、参加者に自由に申告してもらったところ、「元気ハツラツ市」「ま

ちゼミ」「GAKIめしグランプリ」「大垣きゅん」等々、23件上がりました。「正直言って多いですね。イベントが成功するにはストーリーが重要です。」と東氏は話されました。

【過去に辞めたイベント】も、各自が思い出しながら列記していきました。「アートフルタウン」「まちコン」「年末大売出し」「駅前スキーツアー」等、11件程上がりました。東氏は、「お客さんをどう囲い込むかが大切です。」とアドバイスされました。

最後に、【これからやってみたいイベント】を話し合いました。「まちなかバル」「郭町東西街区」「公園の整備」「大垣まつりのユネスコ登録」「酒屋と飲食店のコラボ」等が上がりました。並行して、大垣商店街の特徴について、道幅が広い、歩道が広い等の意見が飛び



▲東講師の総評を聴く参加者達

交っていました。「これらを今後のプランづくりの土台にしましょう。」と東氏が総括されました。

次回以降、具体的なプランづくりが始まります。実践コースとしてのワークショップも予定されていて、参加者の期待が高まっています。

■研修会のお知らせ■

多治見市商店街連合会

日 時：平成27年12月8日(火) 19:00～21:00

場 所：多治見商工会議所（多治見市新町1-23）

テーマ：「三方よし！の得する街のゼミナール」

講 師：岡崎まちゼミの会 会長 松井洋一郎氏

■平成27年度地域商業自立促進事業第3次募集■

本事業は、商店街等を基盤として、地域経済の持続的発展を図るため、地域住民のニーズや該当商店街を取り巻く外部環境の変化を踏まえ、地方公共団体と密接な連携を図り、商店街組織が単独で、又は商店街組織がまちづくり会社等の民間企業や特定非営利活動法人等と連携して行う、以下の5つの分野に係る公共性の高い取組を支援する事業です。

【支援対象となる5つの分野】

1. 地域資源活用
2. 外国人対応

3. 少子・高齢化対応

4. 創業支援

5. 地域交流

【募集期間】

平成27年10月13日(火)

～平成27年12月18日(金)

※経済産業局に17時必着

【問い合わせ先】

中部経済産業局 産業部

流通・サービス産業課 商業振興室

TEL: 052-951-0597

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。